



NEWS

2022 11・15

令和4年11月15日発行

<医療法人社団 佐々木クリニック ケアハウス・ローズマリー>

〒191-0054 日野市東平山 3-1-1 ☎042-585-8062

～コロナ発生件数が減っても、まだ収束の目途は立たず～

日に日に、朝晩は寒さを感じるようになりましたが、お変わりなくお過ごしのことと存じます。コロナ流行下で、落ち着いた生活が続き、秋らしい自然の変化を堪能する余裕をもてません。それでも今まで緑色だった木の葉が変化して、紅葉の準備を始めています。

当施設隣にある「ふれあいファーム」では、蕎麦や落花生が実をつけ、大根も育っています。大分前に植え込んだ日日草が頑張っていて、利用者の皆さんに楽しんでもらおうと、まだ花を付けています。

ひよこハウスの保育園児は、サツマイモ掘りをしたり、先日はひよこファーム（園庭）で、ポニーという小さな馬と園児が触れ合っていました。

ひよこハウスの運動会は、コロナ感染予防から、中庭で年長組だけの行事になりました。

コロナ感染予防のため、まだ制限の多い生活が続いて心苦しい限りですが、此处でぶり返すことがないように、もう少しのご辛抱をお願いしなければなりません。

コロナ渦で世界経済、特に日本経済の打撃はひどく、円安が深刻になり、物価高に悩まされるようになりました。

厳しい経済の時代になり、私たちは、日々の生活を見直し、いろんな工夫することも必要ですが、政府に、国民生活を守る施策を、本腰で実行してもらおうしかありません。

これからは、少子化と高齢化がさらに深刻化します。そして高齢化世代の中心になるのは、団塊の世代です。彼らは、子ども時代に、すし詰め学級を経験し、老いては、巨大化する要介護集団になって、2度目の「すし詰め」状態を経験させられそうです。

こんな時代背景をみても、これから介護はますます厳しい時代を迎えます。

それでも、現実と向き合いつつ、ご利用者・ご家族の皆さんに支えられ、ご協力をいただきながら、職員一同、工夫と協力を大切にして、運営いたします。

今月もよろしくお願い申し上げます。

代表 佐々木榮一より

